



Panasonic®

取扱説明書

SSDカーナビステーション

 Strada

品番 CN-E300D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.8～P.11)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

※ SSD とはSolid State Device (ソリッドステートデバイス) の略で、地図データの記録媒体として (大容量) フラッシュメモリーを使用したものです。

下記サイトで「ユーザー登録」をお願いします

 <https://panasonic.jp/navi/>

- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

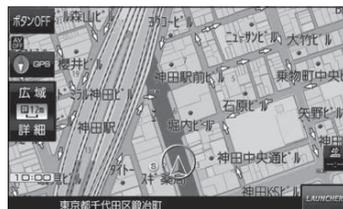


保証書別添付

本機の特長

豊富な地図情報

ゼンリンの豊富で分かりやすい8 GBの地図情報を収録しています。



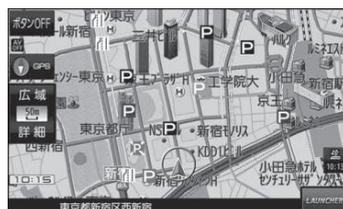
BLUETOOTH® 対応

お手持ちのスマートフォンで BLUETOOTH Audio やハンズフリーを利用できます。



VICS WIDE 対応

最新のFM多重による渋滞情報と渋滞回避 (DRGS) に対応します。



本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご覧ください。

 P.3 参照していただきたいページ番号を表します。	
AUDIO など パネル部のボタンを 白地に黒文字 で表します。	<p>(例)</p> <p>1 AUDIO を押す、または AUDIO をタッチする。</p> 
AUDIO など タッチパネル部のボタンを 黒地に白文字 で表します。	<p>(例)</p> <p>2 郵便番号を入力し、検索 をタッチする。</p> 
 タッチパネル操作やパネル部の操作を表します。	<p>2⁻¹ 2⁻²</p> 
2 ⁻¹ 操作の順番を表します。	

※本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※寸法・質量はおおよその数値です。

※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。

※URLは、予告なく変更になることがあります。

もくじ

本書の読みかた	3
もくじ	4

はじめに P.7

安全上のご注意	8
使用上のお願ひ	12
ナビゲーションシステムについて	14
各部のなまえとはたらき	16
本機の電源を入れる／切る	16
ディスプレイの角度を調整する	17
走行中の操作制限について	17
SDメモリーカードについて	18
CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す	19

ナビ機能の基本操作 P.21

地図画面の見かた	22
地図に表示される記号	24
地図の操作	25
ナビメニュー画面／設定メニューについて	27
自宅を登録する	31
地図から自宅／地点を登録する	32
右画面に地図／情報を表示する	32
ルート設定について	33
目的地／自宅までのルートを探索する	34
音声案内について	35
おでかけ旅ガイド	36
文字入力のかた	37

目的地を探す P.39

目的地を設定する	40
----------	----

ルートを探索する P.53

ルート案内時の注意点	54
1ルート探索／複数ルート探索をする	55
ルートを変更する	56
再探索をする	60
迂回探索をする	61
ルート案内をストップ／スタートする	61
現在のルートを表示する	62
現在のルートを保存する	63
保存したルートを呼び出す／削除する	63
現在のルートを削除する	63
SDメモリーカードからルート探索をする	64

情報を見る・設定する P.65

登録地点の編集／見る	66
登録地点情報を全て書き出す／全て書き替える	70
登録地点情報を選んで書き出す／追加する	71
SDメモリーカードから地点を登録する	72
ecoドライブ情報について	74
GPS情報について	76
走行軌跡を使う	77
本機の接続状態を確認する	77

VICSを利用する P.79

VICS情報(FM多重)について	80
VICS情報(FM多重)の文字情報を見る	83
VICS情報(FM多重)の図形情報を見る	83
FM多重放送局を選局する	84
VICS情報(FM多重)の緊急情報を見る	85
VICS表示の設定をする	86

各種設定をする P.87

ランドマーク表示の設定をする	88
案内設定をする	89
音声案内の音量を調整する	95
地図の表示をカスタマイズする	96
地図ボタン表示の設定をする	100
ランチャーボタンの編集をする	101
平均速度を設定する	101
ルート探索条件の設定をする	102
モーターアンテナ車の設定をする	104

BLUETOOTH®を利用する P.105

BLUETOOTH通信について	106
BLUETOOTH対応機器を本機に登録する	107
本機の本体情報を見る	109
ハンズフリー通話の設定をする	110
ハンズフリーで通話する	111

オーディオの操作 P.115

AUDIOモードの基本操作	116
AUDIO同時動作について	118
音域の設定をする	119
ラジオ(FM/AM)／交通情報を聞く	120
音楽CDを再生する	121

BLUETOOTH Audioを再生する	122
TV(ワンセグ)を見る	123
TV(ワンセグ)の各種設定をする	131

システム設定をする P.135

システム設定画面を表示する	136
画面の明るさを調整する	137
キー操作音の設定をする	138
ステアリングスイッチの設定をする	139
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)	140
バージョン情報を見る	141
地図更新について	141
セキュリティコードについて	142

困ったとき P.143

故障かな!?	144
本機が正常に動作しないとき	155

必要なとき P.157

リビューカメラを使う	158
本機で再生できるディスクについて	160
ディスクの取り扱い	161
お手入れ	162
BLUETOOTH®について	163
VICSについて	164
地図ソフトについて	166
市街地図(詳5 m/詳12 m/詳25 m スケール)の収録エリア	170
表示できる施設	172
さくいん	174
商標などについて	178
ソフトウェア、およびオープンソース ソフトウェアについて	178
仕様	180
保証とアフターサービス	182

はじめに

安全上のご注意	8
使用上のお願い	12
ナビゲーションシステムについて	14
現在地の測位について	14
現在地を測位するまでの時間	14
GPSが受信しにくい場所について	14
現在地(自車)マークのずれについて	15
マップマッチングについて	15
各部のなまえとはたらき	16
本機の電源を入れる／切る	16
電源を入れる	16
電源を切る	17
ディスプレイの角度を調整する	17
走行中の操作制限について	17
走行中に制限される機能	17
SDメモリーカードについて	18
SDメモリーカードの取り扱い	18
CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す	19

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告



本機はDC12V \ominus アース車専用です
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

警告



フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、
お買い上げの販売店にご依頼ください。



**視界や運転を妨げる場所[※]、同乗者に危険をおよぼす場所には、
取り付けない**

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が
飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項
を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品[※]を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、
すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、
熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るの、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

分解禁止

注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。

取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。ヒューズ

交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

*最大入力力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω~8 Ω

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。

交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

警告



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

特に、ディスプレイの開閉や角度調整の際にご注意ください。けがの原因となります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

開いたディスプレイの上に物を置かない

液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

使用上のお願い

●エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

●他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

●携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

●液晶ディスプレイについて

- 先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 市販の液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地点の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

ワンセグ放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

- 大切な情報(登録地点など)は、万が一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
- 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」の2衛星を利用して現在地測位を行います。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

現在地を測位するまでの時間

本機を取り付け後または車のバッテリー交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。通常は電源を入れてから数分で表示します。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

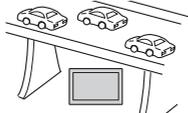
GPSが受信しにくい場所について

次のような場所ではGPS衛星電波が受信しにくくなります。

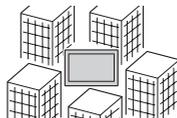
●トンネルの中



●高速道路の下



●高層ビルなどの間



●樹木の間



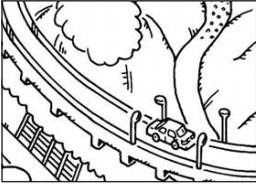
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感が悪化したり受信しなくなることがあるため。

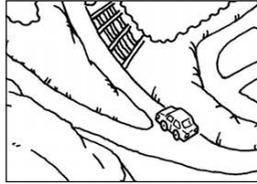
現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



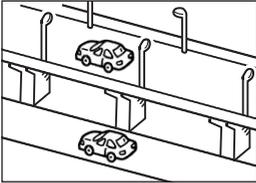
- 緩やかなY字路の走行



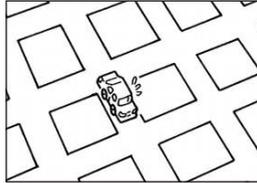
- S字の連続する道路の走行



- 高速道路と一般道路が近くにある場所の走行



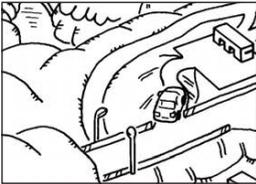
- 碁盤目状の道路や近くに似た形状の道路がある場所の走行



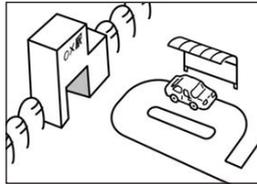
- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、改修などで形状が変わった道路などの走行



- 駅のロータリーや、道路に隣接する私有地・駐車場に入った場合



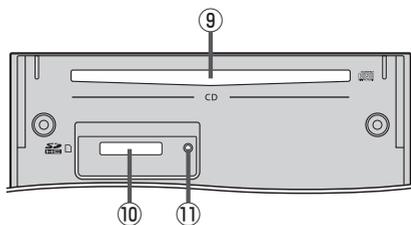
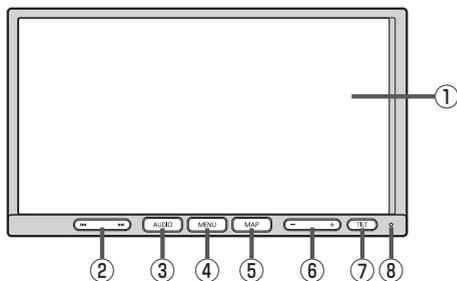
お知らせ

エンジンをかけてすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれたり動かないことがあります。

マップマッチングについて

現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路上に現在地を表示します。

各部のなまえとはたらき



① 液晶ディスプレイ(タッチパネル)

② ボタン

【CD、BLUETOOTH Audio】

- 頭出し
 - 早戻し/早送り(長押し)
- 【ラジオ(FM/AM)、TV(ワンセグ)】
- 選局
 - 自動選局(長押し)

③ **AUDIO** ボタン

AUDIOモードに切り換えます。

④ **MENU** ボタン

メニュー画面を表示します。 P.27

⑤ **MAP** ボタン

現在地の地図画面を表示します。

⑥ ボタン

オーディオの音量を調整します。

※ AUDIO OFF時は操作できません。

⑦ **TILT** ボタン

TILT / EJECT画面の表示や、ディスプレイを閉じるときに押します。

⑧ **マイク**

ハンズフリー通話時に使用します。 P.111

⑨ CD挿入口

⑩ SDメモリーカード挿入口

⑪ **リセットボタン**

折れにくい棒状の物などで押すと本機が再起動されます。

本機の電源を入れる／切る

電源を入れる

1 車のエンジンをかける。(ACCをONにする。)

：本機の電源が入ります。

※セキュリティコード入力画面が表示された場合は、セキュリティコードを入力し、

決定 をタッチしてください。 P.142

2 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

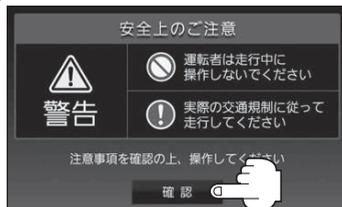
：現在地の地図画面が表示されます。

※ AUDIOモードの再生画面が表示された場合は、

MAP を押すと、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

警告画面



電源を切る

1 車のエンジンを止める。(ACCをOFFにする。)

: 本機の電源が切れます。

ディスプレイの角度を調整する

1 [TILT] を押す。

: TILT / EJECT 画面が表示されます。

2 [DOWN] または [UP] をタッチする。

※ディスプレイの角度を6段階に調整できます。

ボタン	内容
[DOWN]	傾きが大きくなります。
[UP]	傾きが小さくなります。



お知らせ エンジンを切る(ACCをOFFにする)と、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、エンジンをかける(ACCをONにする)と、前回調整した角度でディスプレイが開きます。

走行中の操作制限について

安全上の配慮から走行中に一部の操作や表示を行うことができません。

走行中に制限される機能

ナビモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	地図スクロール	短くタッチする操作のみ可能
	道幅3 m未満の細街路表示	道幅3 m未満の細街路を走行中のみ表示可能
AUDIOモード	メニュー操作	一部のメニューのみ操作可能
	TV(ワンセグ)視聴	映像は表示されず、音声のみ

SDメモリーカードについて

本機では、SDメモリーカードを使用して下記などができます。

- 当社ユーザーコミュニティサイト「ナビcafe」の「おでかけ旅ガイド」からダウンロードした、おでかけスポット・おでかけプランの利用
- 本機で登録している登録地点情報のバックアップ／リストア、エクスポート／インポート
- まっぴるコード(MGコード)更新データの利用

■本機は、SD規格に準拠したSDHCメモリーカード(32 GB以下)*とSDメモリーカード(2 GB以下)に対応しています。それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。

*印…SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

■SDメモリーカードは、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。

SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

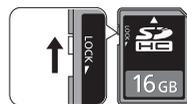
(URLは予告なく変更になる場合があります。)

お知らせ

- 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードの取り扱い

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



お願い

microSDメモリーカードなどを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

CDやSDメモリーカードを入れる／取り出す

1 [TILT] を押す。

：TILT / EJECT 画面が表示されます。

2 [DISPLAY - OPEN] をタッチする。

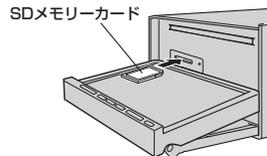
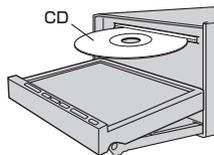
：ディスプレイが開きます。



■ CD / SDメモリーカードを入れる場合

① CD / SDメモリーカードをそれぞれの挿入口に挿入する。

※SDメモリーカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



※挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。

■ CDを取り出す場合

① [DISC - EJECT] をタッチする。

：CDが排出されます。

※排出されない場合、[TILT] を長押し(約10秒)すると強制的に排出することができます。

② [TILT] を押す。

：ディスプレイが閉じます。



■ SDメモリーカードを取り出す場合

① SDメモリーカードを1回押して取り出す。

② [TILT] を押す。

：ディスプレイが閉じます。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま、ACCをOFFにした場合は、自動的にディスプレイが閉じます。
- CDを挿入すると自動でCDの再生がはじまります。